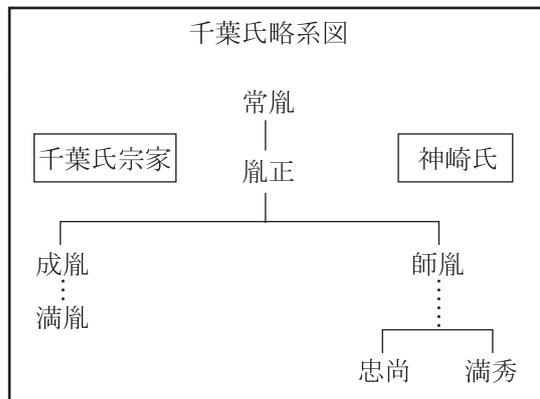


## ～神崎歴史巡り～ 永享の乱と神崎氏

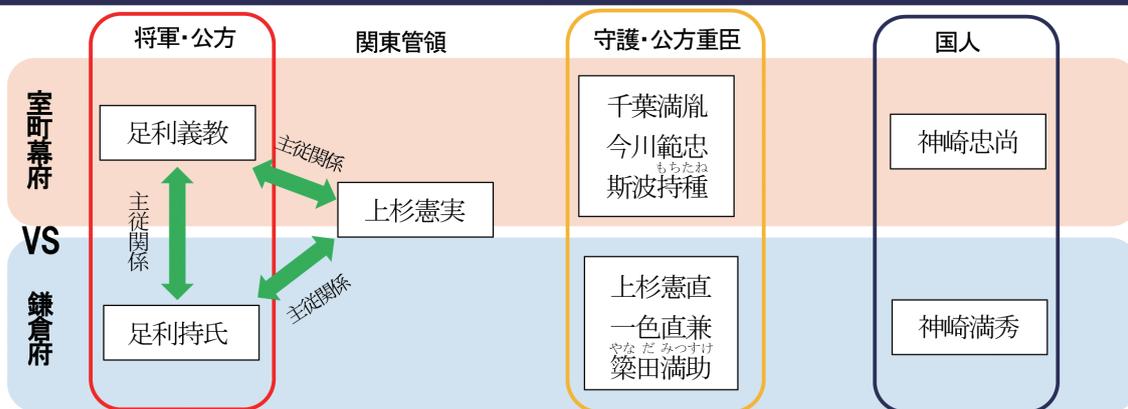
神崎氏は鎌倉時代の有力御家人千葉常胤つねたねの孫である師胤もろたねが神崎庄を領したことを始まりとする千葉氏の一族です。神崎氏に関する文献は乏しく、その活動も不明なことが多くあります。判明していることのひとつが第4代鎌倉公方足利持氏期（1409～1439）の記録です。

神崎氏が記録として出てくるのは、永享の乱で足利持氏（1398～1439）が足利義教（1394～1441）の命により、関東管領上杉憲実（1410～1466）に討伐された時。足利持氏の近臣として、主君とともに討ち死にした神崎周防守満秀です。一門の総領にあたる千葉満胤（1360～1426）は幕府・上杉方で、神崎氏では神崎安芸守忠尚（※1）が幕府方で戦っていました。

当時、神崎氏は神崎庄を支配していましたが、周辺の大須賀氏や国分氏と比べると小さい勢力であり、鎌倉公方にも仕えることで家の安定を図っていたと思われます。



### 永享の乱時の陣営



※1 千葉氏に従い、永徳元年（1380）の小山氏の反乱への出陣から嘉吉元年（1441）の隠居まで活動していたとされるが、複数の人物の事跡を組み合わせた可能性がある。

▶参考文献 ・神崎町史 資料集一 ・千葉県歴史通史編 中世

## ～町村合併70周年記念～ アミューズ・クインテットコンサート

1月31日、神崎ふれあいプラザにおいて、神崎町、千葉県、公益財団法人三井住友海上文化財団の共催による「アミューズ・クインテットコンサート」を開催しました。

当日は、オーケストラなどでご活躍されている5名の演奏家、下払桐子氏（フルート）、杉原由希子氏（オーボエ）、大浦綾子氏（クラリネット）、信末碩才氏（ホルン）、佐久間大作氏（ファゴット）をお迎えしました。

演奏が始まると、柔らかく奥行きのある音色が会場いっぱいに響き渡り、来場者は熱心に耳を傾けていました。演奏後には大きな拍手が送られ、町村合併70周年を祝うにふさわしい、心に残るひとときとなりました。



▲観客を魅了した木管五重奏